

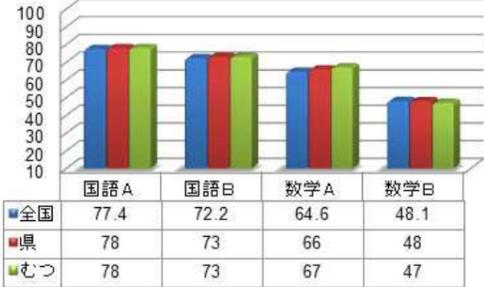
## 平成29年度 「むつ市教育大綱」における主な施策の結果報告

### 1 趣旨

- 1) 本大綱を着実かつ効果的に推進していくため、P D C Aサイクルの考え方に基づき、重点目標を達成するための各施策の推進状況を確認する。
- 2) 総合教育会議において成果や課題を評価・検証する。

### 2 重点目標と主な施策等（3月1日現在）

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	担当																																							
1. 学力の向上	(1) 明確な目標設定 「全国でもトップ クラスの学力の育 成」	1) 青森県学習状況調 査	◎県平均を3割上回 る	① 8月 調査実施 ② 10月 速報値公表 県・市・自校の集計結 果を各校へ送付 ③ 12月 最終結果公表 ④ 3月 広報むつに結果掲載	・ 小学校5年生結果 <table border="1" style="margin-top: 5px;"> <tr><th>科目</th><th>県</th><th>むつ</th></tr> <tr><td>国語</td><td>55.2</td><td>56.1</td></tr> <tr><td>社会</td><td>64.3</td><td>62.2</td></tr> <tr><td>算数</td><td>52.2</td><td>51.4</td></tr> <tr><td>理科</td><td>60.3</td><td>60.4</td></tr> <tr><td>全体</td><td>58.2</td><td>57.6</td></tr> </table> ・ 中学校2年生結果 <table border="1" style="margin-top: 5px;"> <tr><th>科目</th><th>県</th><th>むつ</th></tr> <tr><td>国語</td><td>51.6</td><td>51.1</td></tr> <tr><td>社会</td><td>52.7</td><td>55.1</td></tr> <tr><td>数学</td><td>46.3</td><td>46.3</td></tr> <tr><td>理科</td><td>53.1</td><td>54.1</td></tr> <tr><td>英語</td><td>57.2</td><td>59.4</td></tr> <tr><td>全体</td><td>52.3</td><td>53.3</td></tr> </table>	科目	県	むつ	国語	55.2	56.1	社会	64.3	62.2	算数	52.2	51.4	理科	60.3	60.4	全体	58.2	57.6	科目	県	むつ	国語	51.6	51.1	社会	52.7	55.1	数学	46.3	46.3	理科	53.1	54.1	英語	57.2	59.4	全体	52.3	53.3	① 学力向上アクションプランの具体の取組を「学力向上の構造図」にまとめ、学校訪問等で周知を図る。 ② むつ市教育センターの授業づくり講座において、思考力・判断力・表現力等を育成するための活用型問題集を取り入れた実践例を紹介する。 ③ 指導力向上に向け「活用力育成講座」を新設する。	学 校 教育課
		科目	県	むつ																																										
国語	55.2	56.1																																												
社会	64.3	62.2																																												
算数	52.2	51.4																																												
理科	60.3	60.4																																												
全体	58.2	57.6																																												
科目	県	むつ																																												
国語	51.6	51.1																																												
社会	52.7	55.1																																												
数学	46.3	46.3																																												
理科	53.1	54.1																																												
英語	57.2	59.4																																												
全体	52.3	53.3																																												
		2) 全国学力学習状況 調査	◎全国平均を3割上 回る	① 4月 調査実施 ② 8月 全国・県・市・自校の 集計結果を各校へ送付 ③ 9月 むつ市ホームページに 結果公表 ④ 11月 広報むつに結果掲載	・ 小学校6年生結果 <table border="1" style="margin-top: 5px;"> <tr><th>科目</th><th>全国</th><th>県</th><th>むつ</th></tr> <tr><td>国語A</td><td>74.8</td><td>79</td><td>79</td></tr> <tr><td>国語B</td><td>57.5</td><td>59</td><td>57</td></tr> <tr><td>算数A</td><td>78.6</td><td>80</td><td>81</td></tr> <tr><td>算数B</td><td>45.9</td><td>48</td><td>44</td></tr> </table> <p style="text-align: right; color: blue;">(※次ページへ続く)</p>	科目	全国	県	むつ	国語A	74.8	79	79	国語B	57.5	59	57	算数A	78.6	80	81	算数B	45.9	48	44	① 学力向上アクションプランの具体の取組を「学力向上の構造図」にまとめ、学校訪問等で周知を図る。 ② むつ市教育センターの授業づくり講座において、思考力・判断力・表現力等を育成するための活用型問題集を取り入れた実践例を紹介する。 ③ 指導力向上に向け「活用力育成講座」を新設する。	学 校 教育課																			
科目	全国	県	むつ																																											
国語A	74.8	79	79																																											
国語B	57.5	59	57																																											
算数A	78.6	80	81																																											
算数B	45.9	48	44																																											

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当																				
1. 学力の向上	(1) 明確な目標設定 「全国でもトップ クラスの学力の育成」				<p>・ 中学校3年生結果</p>  <table border="1" data-bbox="1804 583 2288 667"> <tr> <td></td> <td>国語A</td> <td>国語B</td> <td>数学A</td> <td>数学B</td> </tr> <tr> <td>■全国</td> <td>77.4</td> <td>72.2</td> <td>64.6</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td>■県</td> <td>78</td> <td>73</td> <td>66</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>■むつ</td> <td>78</td> <td>73</td> <td>67</td> <td>47</td> </tr> </table>		国語A	国語B	数学A	数学B	■全国	77.4	72.2	64.6	48.1	■県	78	73	66	48	■むつ	78	73	67	47		
		国語A	国語B	数学A	数学B																						
	■全国	77.4	72.2	64.6	48.1																						
■県	78	73	66	48																							
■むつ	78	73	67	47																							
(2) 主体的な学習の推進 「アクティブラーニング」の推進	1) 主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善	◎ 計画訪問や要請訪問における指導と評価 (改善状況100%)	<p>① 計画訪問（5～6月）では「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善の必要性について説明するとともに、授業全般について指導助言を行った。</p> <p>② 弘前大学との連携講座では、主体的・対話的で深い学びの視点で講義して頂いた。</p> <p>③ 要請訪問（10月以降）では、各校で実施する教科の研究授業において、担当指導主事が指導助言を行った。</p>	<p>・ 各校では校内研修を中心に授業改善に取り組んでいることを計画訪問及び要請訪問等を通して確認した。 (100%)</p>	<p>① 平成30年度版「指導の方針と重点」を計画訪問で周知する。</p> <p>② 弘前大学との連携講座では、市内小・中学校の課題である活用力向上について、より重点的に取り組む。</p> <p>③ 指導力向上に向け「活用力育成講座」を新設する。</p>	学 校 教育課																					
2) 新聞を活用した教育活動	◎ 児童生徒及び教員向けアンケート (A評価60%)	<p>① 小学校5年生以上の全学級で新聞購読を開始した。</p> <p>② N I Eガイドブックを各校に配付するとともに、教育研修センター講座においてN I Eアドバイザーによる新聞活用に係る研修会を開催した。</p> <p>③ 15校で新聞記者による出前授業を実施した。</p> <p>④ 年度末にアンケート調査を実施し、活用状況に係る報告書が提出された。</p> <p>⑤ 新聞を使った活用型問題集の作成について周知した。</p> <p>⑥ 毎週水曜日に各校へ新聞社作成のワークシート通信をメール配信した。</p> <p>⑦ 各校からの希望により、新聞挟み等の教具やコラム書き写しノート等の教材を提供するなど基盤整備を図った。</p>	<p>・ 児童生徒の変容（学校からの報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニュースや時事問題に関心を持つ生徒が増えてきた。 小：47%、中：55%、全体：51%</li> <li>・ 新聞の情報から見識が広がり、友人や家族との話題として取り上げられるようになった。</li> <li>・ 地域の情報を調べることで、郷土を愛する気持ちへつながってきた。</li> <li>・ 新聞を読むことで語彙力や読解力が養われるとともに、記事に対する感想や意見の発表を通して、思考力・判断力・表現力が高まってきた。</li> <li>・ 社会で起こっているできごとを身近なこととしてとらえ、自分だったらどのように行動するかなど、自分のこととして捉え・考える力が高まってきた。</li> </ul>	<p>① 各校の実践例を3月末に教育系イントラにアップし、共有化を図る。</p> <p>② 新聞保管台等の教具や新聞活用にも有効な教材等の基盤整備も図る。</p>	学 校 教育課																						

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
1. 学力の向上	(3)教育環境の整備	1)特別支援教室の充実	◎ICTを活用した特別支援教育に関する勉強会の開催(H30年度実施予定)	・ 苫生小学校のタブレット端末は10月中旬の納品予定であり、授業での活用を重ね勉強会プログラムを構築する。	・ 苫生小学校のタブレット端末は10月に納品し授業で活用中であり、勉強会プログラムを構築中である。	①ソフトや周辺機器など授業に必要なものの充実。 ②他校との勉強会プログラムの実施。	総務課
		2)「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」に基づく、学校規模の適正化	◎大畑地区の小学校の統合計画の策定(H30年度策定)	5月 保護者説明会 7月 児童アンケート実施 8月 児童アンケート結果を保護者に通知 11月 住民説明会開催(住民アンケート実施)	・ 現状では、保護者及び地域住民からの理解が得られていない状況	平成30年度中に教育委員会としての統合時期の考えを呈示することとしている。	総務課
		3)高度情報化に対応するための人材育成	◎ICTを活用に関する事業の導入(全小中学校)	・ 8月に関根中学校へタブレット端末50台が導入され事業がスタートしている。	・ 関根中学校のタブレット端末50台の活用実績を踏まえ、他校に導入する機器の仕様を決定できた。	①タブレット端末を活用した公開授業の実施。 ②プログラミング教材の導入及び活用。	総務課
	(4)教職員の資質向上「専門性を身に付けた教職員の育成」	1)むつ市教育研修センターの研修講座の推進	◎研修講座実施後の参加者アンケート(A評価80%)	①弘前大学教育学部との連携6講座 ②青森県総合学校教育センターから講師派遣2講座 ③その他の講師派遣3講座 ④学校教育課担当7講座	・ 参加者アンケートの結果 A評価：73.8%	①教職員のニーズに応じた講座内容となるよう工夫する。 ②新学習指導要領に対応した講座となるよう改善を図る。	学校教育課
		2)校内研修体制の整備・充実	◎「校内研修の成果と課題」の集約と分析(改善状況100%)	①5月～6月 学校訪問資料「指導の方針と重点」に、校内研修推進に関する項目を追加し、計画訪問で要点を説明 ②5月 各校の校内研修計画を教育系イントラネット上のキャビネットに公開し情報共有 ③7月 学校教育課広報で校内研修の充実に係る情報を提供 ④10月～12月 要請訪問では、各校の校内研修に関連させて担当指導主事が助言	・ 3月上旬に各校からの「学校課題研究集録」を取りまとめ、改善状況を把握するとともに(100%)、教育系イントラネット上のキャビネットに各校の取組を公開し情報共有を図った。	①授業改善を視点に、平成30年度版「指導の方針と重点」を計画訪問で周知する。	学校教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
1. 学力の向上	(5) 幼保小連携 「幼児教育と義務教育の相互理解」	1) 幼稚園・保育園と 小学校との連携研 修講座	◎研修講座実施後の 参加者アンケート (A評価80%)  参加者のニーズに合 致した研修であった か。	①5月～8月 担当指導主事 20園訪問 ②7月 幼保小連携講座開催 ③8月 特別支援教育に関する 講座開催	・参加者アンケート結果 A評価：57.1%  ・幼稚園や保育園の先生方からは高い 評価であった。 ・園と小学校の先生方の情報交換や交 流は有意義であるとの感想が多かつ た。	①アンケート結果に基づ き、参加者のニーズに応 じた内容となるよう改善 を図る。	学 校 教育課
		2) スタートカリキュ ラム（園と小学校 の接続期カリキュ ラム）の作成	◎各小学校における 作成状況 (29～30年度 作成率100 %)  小学校生活と教科の 学習に慣れるよう意 図されているか。	①青森県総合学校教育センター の担当指導主事による講座を 開催した。 ②3回の作成会議において基本 案を策定した。 ③完成したスタートカリキュ ラムモデルプランを1月の「指 導の方針と重点」説明会で全 小学校に配付し各校での作成 を依頼した。	・平成30年度中に把握	①次年度の「幼稚園・保育 園と小学校との連携研修 講座」において、スター トカリキュラムについて 情報共有を図る。 ②計画訪問等で各校の作成 状況を把握する。	学 校 教育課
2. 体育・健康 教育の充実	(1) 健康な体を育む学 校づくり	1) 健康教育の実施	◎肥満傾向児の出現 率 (前年度以下)	①計画訪問において、短命5大 要因（肥満、運動、食生活、 喫煙、飲酒）に関する健康教 育の推進や中学校保健の授業 時数の確保について依頼し た。 ②学校保健調査で肥満傾向児の 出現率を把握した。	・肥満傾向児の出現率 28年度 ⇒ 29年度 小学校全学年 男子 15.91% ⇒ 16.47% 女子 12.97% ⇒ 12.39% 中学校全学年 男子 16.03% ⇒ 16.65% 女子 17.17% ⇒ 15.96%  ・小中学校とも、女子は肥満傾向児の 出現率が下がった。	①健康課題解決に向け、各 校での継続した取組や家 庭と連携した取組を依頼 する。	学 校 教育課
		2) 「健康の未来」を 変える授業プロジ ェクト	◎実施校4校でのア ンケート調査 (A評価60%)	・弘前大学大学院医学研究科の 中路特任教授とのコラボ授業 の推進 ①7月 大平小学校の4年生を 対象に、夏休みの生活習慣 の改善を中心とした授業を 実施した。 ②7月 田名部中学校のPTA 行事として1年生とその保 護者を対象に、高瀬歯科医 院長とともに歯の衛生と全 身の健康に関する授業を実 施した。 ③11月 川内小学校5年生を対 象に生活習慣の改善を中心 とした授業を実施した。 <b>(※次ページへ続く)</b>	・職員アンケート A評価：86.0% ・児童生徒アンケート A評価：89.0%  ・健康に関して児童生徒に関心を抱か せる機会となり、短命県返上に向け た健康な生活習慣形成についての理 解が進んだ。 ・4校ともに保護者に参加依頼をする など、家庭と連携した健康教育の推 進に取り組んだ。 ・近川中では町内会長等を含めた学校 保健委員会を併せて開催したことで 地域の方々への啓発にもつながつ た。	①年度末には実践資料集を 市内小中学校に配布する とともに、次年度の教育 研修センター講座でも活 用する。 ②次年度の開催校について は、開催時期や内容等につ いて中路特任教授と連 絡調整を図る。	学 校 教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
2. 体育・健康 教育の充実	(1) 健康な体を育む学 校づくり	2) 「健康の未来」を 変える授業プロジ ェクト		④12月 近川中学校の参観日で 全校生徒と保護者を対象に 生活習慣の改善を中心とし た授業を実施した。			
		3) 新体力テストの実 施と分析	◎県平均との比較 (県平均以上)	①各校において、小中学校とも 8種目を実施した。 ②2月に発表された全国及び県 の集計結果との比較を行っ た。	・「平成29年度全国体力・運動能 力、運動習慣等調査」 全国平均:50 小学校5年男子 8種目合計 (県:50.3・市:49.3) 小学校5年女子 8種目合計 (県:51.2・市:49.5) 中学校2年男子 8種目合計 (県:50.2・市:51.8) 中学校2年女子 8種目合計 (県:49.5・市:50.5)  ・小学校は男女とも全国や県を下回 ったが、中学校は男女とも上回っ た。	①各校に対してスポーツ活 動を確保するよう継続し て依頼する。	学 校 教育課
	(2) 安全・防災教育の 推進	1) 危機管理マニユ アル策定	◎各学校における改 善状況の把握 (29～30年度 改善率 100%)	①3回の作成会議において全体的 な検討を行い、声かけ事案、 食物アレルギー、児童虐待、 弾道ミサイル等への対応を新 たに追加した。 ②市内小中学校の全学級(209) にマニュアルを配備するとと もに、配備にあたって説明会 を開催した。 ③各校のマニュアル改善を依頼 した。	・「平成29年度学校体育、健康・ 交通安全等に関する調査」により、 市内小・中学校22校において学校 危機管理マニュアルの見直しがされ た。(100%)  ・弾道ミサイルに特化した避難訓練を 実施した学校は3校(小学校1校、 中学校2校)であった。	①各校の危機管理マニユ アルの共有を図る。	学 校 教育課
(3) スポーツ環境整備	1) 小学校部活動のス ポーツ少年団への 移行	◎指導者データバン クの創設 (目標:30年度)	・指導者の負担軽減のため、補 助金交付要綱を制定   ・スポーツ指導者の把握調査実 施	・むつ市体育・スポーツ振興事業運営 費補助金交付要綱改定 (むつ市)(H29.8.3) ・スポーツ指導者資格受講料等補助金 交付要綱制定 (スポ少)(H29.8.30) ※スポーツ少年団認定員受講者 38名(H29:2名) ※JBA公認コーチライセンス(バスケ)6名  ・指導者把握調査(15団体/21団体中 から回答有 H29.8月) ・スポーツ活動運営講習会実施予定 (H30.3.24)	・平成30年12月創設を 目標に調査を継続し、関 係機関との調整を図りな がら、公募する。	市 民 スホ <sup>°</sup> ー 課	

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主 担 当
2. 体育・健康 教育の充実	(3) スポーツ環境整備	1) 小学校部活動のスポーツ少年団への移行	◎小学校部活動（運動部）をスポーツ少年団等へ移行（目標：32年度）	・地域主体のスポーツ活動への移行を支援するための取組 ①他地区からの情報収集 ②市内各小学校からの聞き取り ③教育委員会の基本計画作成 ④教育委員会と校長会の合同会議において、校長会小学校部会から要望書を受け取るとともに、教育委員会の方向性を示した。 ⑤むつ市小学生スポーツ活動連絡協議会を設立した。	・1月に発足した「小学生スポーツ活動連絡協議会」で検討を重ね、校長会小学校部会からの要望書に対する見通しをまとめるとともに、3月中に「むつ市小学生スポーツ活動の指針」を作成し、スポーツ少年団等への移行を含めた望ましいスポーツ活動の在り方を示す。	①むつ市小学生スポーツ活動連絡協議会で検討した「むつ市小学生スポーツ活動の指針」を校長会やPTA等の関係者に周知する。 ②関係団体等に情報提供及び協力依頼する。	総務課 学 校 教育課
		2) スポーツ施設の整備	◎新体育館の建設（目標：31年度）	・新体育館基本設計 ・新体育館実施設計	・基本設計 完了（H29.7月） ・実施設計 完了（H30.3月）	・平成30年度着工 ・平成31年度竣工 ・平成32年度供用開始	市 民 スポ ー ツ 課
		3) トップアスリートとの交流機会の創出	◎年1回以上実施（目標：33年度）	①9月 NTT東日本漕艇部によるボート教室を開催 ②12月 西武ライオンズによる「ふれあい野球教室」を開催予定	・鹿島アントラーズ サッカー教室（9/10）参加：小学生265人 ・NTT東日本漕艇部 ボート教室（9/17～18）参加：高校生 90人 ・西武ライオンズ 野球教室（12/2）参加：小学生188人 ・NTTコミュニケーションズ シャイニングアークスラグビー教室（2/25）参加：高校生192人	・今後も年1回以上の開催を目指す。	市 民 スポ ー ツ 課
3. 夢を育む教育	(1) 学力の保障を通じた生きる力の育成	1) むつ市総合学力調査	◎意識調査「自己肯定感」（前年度以上）  ・将来の夢や進路について家の人と話をする。（設問11）  ・努力すればたいていのことはできる。（設問25）  ・自分には褒められるような得意なことがある。（設問53）	①4月 調査実施 ②5月～6月 計画訪問での依頼事項 ・全教育活動を通じた児童生徒の自己肯定感の育成 ・温かい人間関係づくりを基盤とした学年・学級経営	・4月調査結果 各設問において、小5・中2ともに前年度以上であり全国平均も上回っている。  28年度 ⇒ 29年度 小5 62.9% ⇒ 67.0% (全国 62.4%) 中2 76.3% ⇒ 77.6% (全国 70.1%)  小5 90.3% ⇒ 92.3% (全国 90.4%) 中2 81.3% ⇒ 87.2% (全国 82.5%)  小5 77.0% ⇒ 82.5% (全国 78.0%) 中2 66.5% ⇒ 70.5% (全国 70.8%)	①引き続き、全教育活動を通じた児童生徒の自己肯定感の育成と、温かい人間関係づくりを基盤とした学年・学級経営を依頼する。	学 校 教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
3. 夢を育む教育	(1) 学力の保障を通じた生きる力の育成	2) 全国学力学習状況調査	◎質問紙調査「夢や目標」 (前年度以上)  ・将来の夢や目標を持っているか。 (設問10)	① 4月 調査実施 ② 5月～6月 計画訪問において、児童生徒の発達段階に応じてキャリア教育の推進を依頼 ③ 9月 むつ市ホームページに結果公表	・4月実施結果  ・各設問において、小6・中3ともに前年度以上であり全国平均も上回っている。  28年度 ⇒ 29年度 小6 87.0% ⇒ 93.2% (全国85.9%) 中3 77.6% ⇒ 78.4% (全国70.5%)	① キャリア教育充実のために、職業調べや職業体験等の多様な学習機会を確保するよう依頼する。 ② キャリア教育に係る講演会を開催するなど、夢や希望を育む機会を設定する。	学 校 教育課
	(2) キャリア教育の充実	1) むつ市中学生夢はぐくむ体験入学	◎参加者へのアンケート調査 (A評価80%)  ・大学等への進学希望(出発前と終了後の変容) ・将来の自分の職業を意識して普段の勉強をどうしたいか(出発前と終了後の変容)	① 4月 募集開始 ② 7月 事前指導 ③ 8月 青森中央学院大学にて看護体験 ④ 8月 アンケート集計 ⑤ 9月 集計結果資料作成関係校への配付	・参加者アンケート結果  事前 ⇒ 事後 68.8% ⇒ 62.5%  事前 ⇒ 事後 6.3% ⇒ 75.0%  ・医療関係の大学進学だけでなく、国家試験合格を果たして初めて職業に就けることへの気付きがあった。	① 参加者を増やすため、医療関係の仕事に興味・関心がある生徒の参加依頼をする。 ② 「広報むつ」6月号で募集を行う。 ③ FMジュール「なるほど教育委員会」で事業報告と募集を行う。	学 校 教育課
		2) ジュニア大使派遣事業	◎参加者へのアンケート調査 (A評価80%)	① 4月 広報むつで周知 ② 5月 募集開始 ③ 6月 面接選考 ④ 7月 任命書・委嘱状交付式 ⑤ 7月～12月 事前研修(7回) ⑥ 12月 結団式 ⑦ 1月 アンケート実施 事後研修(2回) 報告会 ⑧ 2月 広報むつに記事掲載	・参加者アンケート結果  A評価：90%  ・まちづくりに関する意見交換は大使にとってはレベルの高い内容であるが、ALTやCIRの事前研修もあり立派に役割を果たせた。	① 報告書・DVD作成、配付 ② 次年度の訪問計画作成	学 校 教育課
		3) むつ市議会傍聴体験とこども議会の推進	◎参加者へのアンケート調査 (A評価80%)	① 4月 校長会で依頼 ② 9月 議会傍聴体験(9/6,7) ③ 10月 一般質問作成 ④ 10月 各中学校で携帯電話の使用ルールに係る取組 ⑤ 11月 こども議会(11/14) ⑥ 11月 アンケート調査 ⑦ 1月 広報むつに記事掲載	・参加者アンケート結果 教員：A評価：78% 生徒：A評価：82%  全校集会等で発表：5校 学校だより等で紹介：5校 新聞記事の掲示：1校 参観日で紹介：1校 小中一貫教育だよりで紹介：1校	① 報告書作成、配付 ② 募集依頼	学 校 教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
3. 夢を育む教育	(3) 特別支援教育の充実	① スクールサポーター配置	◎ 配置校へのアンケート調査 (A評価60%)  ・SSの配置により学習面での困難さが軽減された。 ・SSの配置により生活面での困難さが軽減された。 ・特別支援学級に在籍する児童生徒が協力学級での学習に参加しやすくなった。	① 3月 説明会実施 ② 各月 スクールサポーター配置校から勤務状況報告書の提出 ③ 7月 スキルアップ研修会 ④ 8月 特別支援教育研修講座 ⑤ 12月 アンケート調査、サポーターとの面談 ⑥ 1月 次年度の募集開始 ⑦ 2月 採用面接実施	・サポーターの配置 小学校8校に23名 中学校4校に7名 計30名  ・配置校アンケート結果  A評価：79.8%  A評価：85.6%  A評価：82.7%  ・スクールサポーターの配置により、児童生徒の安全が確保され、生活面や学習面での困難さも軽減された。	① 採用決定 ② 説明会実施	学 校 教育課
		② 個別の教育支援計画の作成	◎ 個別の教育支援計画の作成状況 (作成率100%)	① 5月 就学事務説明会にて作成依頼 ② 6月 特別支援学級等調査 ③ 11月 特別支援教育体制整備状況調査 ④ 2月 むつ市特別支援教育推進委員会において新入学児童の個別の教育支援計画作成	・6月段階の作成状況 88.7% ・11月段階の作成状況 89.4%  ・新入学児童の個別の教育支援計画の作成率 100%	① 各校の就学支援 ② 進級・進学にあたっての確実な引き継ぎ	学 校 教育課
	(4) 豊かな心の育成	1) いじめ防止に向けた日常的な取組	◎ いじめ解消率の把握 (解消率90%)	① 4月 校長会でいじめに関する対応を依頼 ・人間関係づくりの促進 ・いじめ発生時の報告書提出 ② 関係校と定期的な情報交換	・29年12月までの報告件数14件 解消した件数 11件 解消率 78.6%  ・30年2月末現在の報告件数15件 解消した件数 16件 解消率 100%	① 生徒指導担当者同士の情報共有を促進する。 ② 「むつ市いじめ防止基本方針」改訂版を基に、各校の基本方針の改善を依頼する。 ③ 「むつ市いじめ問題対策委員会」において情報提供する。	学 校 教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
3. 夢を育む教育	(4) 豊かな心の育成	2) いじめ防止宣言フォーラムの開催	<p>◎児童生徒へのアンケート調査 (A評価80%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでよりも「いじめ防止」について考えることができたか。</li> <li>・意欲的に「いじめ防止」に向けて活動しようと思うか。</li> </ul>	<p>①いじめ防止に係るリーフレットを全保護者に配付した。</p> <p>②むつ市のホームページで周知を図った。</p> <p>③11月9日に近川中学校でフォーラムを開催した。</p> <p>④事後指導用資料作成、配付</p>	<p>・11月アンケート結果</p> <p>28年度 29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A評価 74.9% → 76.6%</li> <li>・A評価 78.9% → 83.0%</li> </ul> <p>・いじめ防止に小中学校が一貫して取り組み、家庭や地域とともに児童生徒を見守る体制が重要であるとの認識が浸透してきた。</p>	<p>①次年度の開催校である川内小・中学校と内容等について協議する。</p> <p>②「広報むつ」2月号で、事業概要を紹介する。</p> <p>③FMジュール「なるほど教育委員会」で事業報告を行う。</p> <p>④「いじめゼロネットワーク」(小学校)や「ネットいじめ防止の約束提案書」(中学校)など日常的な取組につなげる。</p>	学校教育課
		3) 生徒指導検査アセスに基づく児童生徒理解	<p>◎各学校の取組状況の把握 (取組状況100%)</p> <p>◎いじめ不登校対策研修講座を受講した先生方へのアンケート調査 (A評価80%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の児童・生徒指導に生かされるか。</li> <li>・次学期からの児童・生徒指導につながる研修となったか。</li> </ul>	<p>①アセスに基づく児童生徒理解について校長会で依頼した。</p> <p>②8月に青森県総合学校教育センターの講師によるアセス活用講座を実施した。</p>	<p>・3月集計結果 各校の取組状況 (100%)</p> <p>アンケート調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A評価: 77.8%</li> <li>・A評価: 85.2%</li> </ul> <p>・参加者は調査結果の読み取り方法、児童生徒への関わり方等を学ぶことができたので、さらに校内研修で情報を共有する必要がある。</p>	<p>①年度末には児童生徒理解に向けた取組状況に係る報告書が各校から提出される。</p> <p>②報告内容を集約した上で、効果的取組について各校と情報共有を図る。</p>	学校教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
3. 夢を育む教育	(4) 豊かな心の育成	4) 望ましい生活習慣の育成	<p>◎全国学力調査での質問紙調査 (肯定的評価全国以上)</p> <p>①携帯電話等について家の人と約束したことを守っているか。(設問25)</p> <p>②テレビやゲームの時間などのルールを家の人と決めてしているか。(設問26)</p> <p>③家で、自分で計画を立てて勉強しているか。(設問29)</p> <p>④学校のきまりを守っているか。 (設問49)</p>	<p>①4月・調査実施</p> <p>②9月・携帯電話に関するアンケート調査実施</p> <p>・むつ市ホームページに結果公表、市内小中学校の全家庭にも周知</p> <p>③11月 ことども議会において、携帯電話等の使用ルールに係る議案を提案</p>	<p>・4月実施結果</p> <p>小6 50.4% (全国 48.7) 中3 48.5% (全国 50.6)</p> <p>小6 57.2% (全国 58.3) 中3 29.2% (全国 34.0)</p> <p>小6 78.3% (全国 64.5) 中3 55.6% (全国 51.5)</p> <p>小6 94.7% (全国 92.6) 中3 97.1% (全国 95.2)</p> <p>・携帯電話等のルールづくりについては全国より低い結果であったことから、家庭と連携した取組が必要である。</p>	<p>①各校からの要請に応じて情報モラル教室に生徒指導担当指導主事を派遣する。</p> <p>②家庭と連携した携帯電話等のルールづくりを推進する。</p>	学 校 教育課
		5) 思いやりなど豊かな心の育成	<p>◎全国学力調査での質問紙調査 (肯定的評価全国以上)</p> <p>①人が困っているとき助けてあげる。 (設問51)</p> <p>②人の役に立つ人間になりたい。 (設問53)</p>	<p>①4月 調査実施</p> <p>②9月 むつ市ホームページに結果公表</p>	<p>・4月実施結果</p> <p>小6 90.4% (全国 85.3) 中3 85.0% (全国 84.4)</p> <p>小6 94.1% (全国 92.5) 中3 92.5% (全国 91.9)</p> <p>・小6・中3ともに全国を上回る結果であった。</p>	<p>①全教育活動を通じた自己肯定感の育成や、温かい人間関係を基盤とした学年・学級経営の推進を依頼する。</p>	学 校 教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
4. 地域とともに ある学校	(1) 家庭・地域との連 携・強化	1) 開かれた学校づく りと地域とともに ある学校づくり	◎コミュニティスク ールの導入  (目標：32年度)	① 6月 基本計画策定に向けた 協議 ② 8月 コミュニティスクール 先進地視察（岐阜市） ③ 9月 モデル校への概要説明 ④ 12月 むつ市連合P T Aと 教育長との懇談会にお いて情報提供 ⑤ 1月 校長会との合同会議に おいて情報提供 むつ市学校運営協議会 規則の制定 ⑥ 2月 モデル校と打ち合わせ 会議	・ 関根小学校と関根中学校の2校にモ デル校を依頼し、平成30年4月か らコミュニティスクールを導入する こととした。  ・ むつ市学校運営協議会規則の内容等 を説明した。 ・ コミュニティスクール導入に伴い 従来の学校評議員制度は廃止すると ともに、むつ市学校運営協議会委員 の選定を依頼した。	① 30年度 モデル校での 研究開始 研修会開催	総務課  学 校 教育課
			◎放課後子供教室の 開設 (7か所)	・ 7月に余裕教室の状況調査を 実施。（大畑小以外なし） ・ 未設置地域の余裕教室等を把 握しながら開設に努める。	・ H29から大湊小学校に開設  (4か所から5か所に)	・ 未設置地域での開設を目 指すとともに、設置地域 では教育活動サポーター の確保に努め活動の充実 を図る。	生 涯 学習課
			◎学校関係者評価に おける学校運営の  改善状況 (53%→100%)	・ 各校から学校関係者評価の結 果について提出依頼をする。	・ 3月末に集計	・ 開かれた学校づくりに向 け、学校関係者評価の状 況を周知する。	総務課  学 校 教育課
	(2) 多様な学習機会の 提供	1) 社会教育施設の利 用促進	◎公民館・図書館利 用者数 (181,000人)	・ 利用者が利用しやすいサービ スの提供に努めている。	公民館 72,595人 ----- 図書館 114,255人 ----- 計 186,850人	・ 今後も利用者目線にたっ た更なサービスの提供に 努めていく。	公民館 図書館
			◎主催事業参加者数 (18,522人)	・ 利用者のニーズに応える事業 の実施に努めている。	生涯学習課 667人 ----- 公民館 32,286人 ----- 図書館 5,848人 ----- 計 38,801人	・ 今後もアンケート調査な どから利用者の意見を把 握し、更なる事業の推進 に努めていく。	生 涯 学習課 公民館 図書館
			◎各団体・各サーク ルの利用者数 【公民館・図書館】 (31,015人)	・ 市民が利用しやすい施設環境 の提供に努めている。	公民館 38,011人 ----- 図書館 3,682人 ----- 計 41,693人	・ 施設の老朽化に対応しな がら、安心して利用でき る施設環境整備に努めて いく。	公民館 図書館

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
4. 地域とともに ある学校	(3) 廃校校舎の利活用	1) 廃校校舎の計画的 利活用及び解体	◎「むつ市公共施設 等総合管理計画」 に沿った利活用の 検討 (要検討：19校)	・旧戸沢小学校解体工事の設計 が9月に完了しており、工事 発注の準備をしている。	・解体工事は2月に完了しており川内 庁舎管理課と所管替えの途中で ある。	・他の廃校校舎の利活用及 び解体計画に努める。	総務課
	(4) ふるさとむつ市へ の愛着と誇りを育 む教育	1) 文化財の保存活用	◎北の防人大湊ボラ ンティアガイドの 登録者数 (20人)	・5月、6月で全6回の養成講 座を開催した。 ・ガイドグループと当課で毎月 定例会を開催し情報共有に努 めている。	・ボランティアガイド登録者 14人 ・平成29年度活動実績 1,061人/51団体、個人79人 計1,140人にガイドを実施	・研修会などを開催し、引 き続きボランティアガイ ドの養成を図っていく。	生涯 学習課
		2) ジオパークに関す る教育活動	◎ジオパーク体験活 動の参加校 (100%)	①4月 校長会でジオパーク体 験活動推進事業について説明 (バス借上料、教材費等) ②5月 ジオ体験(～10月) ③下北ジオパーク推進協議会 教育部会への参加 ④12～1月 下北ジオパーク推 進協議会作成の「学ブック」 の児童生徒への配付 ⑤1月 児童生徒アンケート ⑥2月 下北ジオパーク推進協 議会の学習発表会で各 校の成果物等掲示 ⑦3月 各校から報告書提出	①ジオパーク体験活動の参加校 小学校13校(100%) 中学校 9校(100%) ②ジオ体験活動への参加児童生徒 小学校13校(全児童の28%) 中学校 9校(全生徒の95%) 小中平均 53% ③体験活動推進事業の申請校 小学校 9校(全児童の25%) 中学校 5校(全生徒の16%) ④ジオサイト見学先 ちぢり浜 8校(H28:0校) 脇野沢鯛島6校 大湊芦崎 6校 川内 1校 佐井仏ヶ浦2校 猿ヶ森 1校 野平 2校 下北一周 4校 ⑤各校の実施状況 ・むつ市ジオパーク推進課の全面的 な協力により、講師(ジオガイ ド)の話聞き、ジオサイトを見 学する学習を実施した。 ・事前学習を実施するとともに、事 後には学級・学年での発表会やノ ートや新聞、班ポスターなどにま とめるなどした。 ⑥児童生徒のアンケートから ・自分たちが住んでいる地域のこ とに興味を持つようになった。 小:83% 中:77% 全体:81% ・ジオサイトにまた訪問したい。 ・地域のニュースや新聞記事を読む ようになった。 <span style="color: blue;">(※次ページへ続く)</span>	①各校の実践例を3月末に 教育系イントラにアップ し共有化を図る。 ②教員を対象とした研修会 (ジオセッション)を開催 し、各校の取組を交流す る。	学 校 教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
4. 地域とともに ある学校	(4)ふるさとむつ市へ の愛着と誇りを育 む教育	2) ジオパークに関す る教育活動			・友達や家族と話すようになった。 地域のために、自分にできること はないか、考えようと思った。 小：48% 中：32% 全体：41%		